

## 2/14 身近な「不思議」を探究する力を育てる

本川根中学校の生徒が3年連続入選の快挙を達成



昨年11月、読売新聞社主催の第65回日本学生科学賞の中央審査が開催され、昨年度に続き本川根中学校3年生の山内美琴さん(千頭西区)が入選を果たしました。

今年の山内さんの研究テーマは「川霧の発生条件」。登校時に大井川に現れた霧が、日中も消えずに漂っていたことに疑問を抱き、1年次から定点観測を始め、気温や湿度のデータを粘り強く集めてきました。

山内さんは「研究はとても楽しかったけど、もっと調べられることがあった。進学しても研究は続けたい」と満面の笑顔で話しました。

研究を続けた理科室で入選2等の盾を手にはほほ笑む

## 2/17 コロナ禍を戦う医療従事者を支援

川根本町赤十字奉仕団が手作りの医療用ガウンを静岡赤十字病院に寄贈

川根本町赤十字奉仕団は、昨年2月、静岡赤十字病院に手作りの医療用ガウン80枚を寄贈しました。

今回、その活動に対し同病院から、感謝状が贈呈され、菌田町長が「皆さんの日頃の活動が町の福祉サービスの充実につながっている。今後も引き続き奉仕活動に努めていただきたい」と伝達しました。

同団委員長の高田博子さん(藤川区)は「今後は医療用ガウンの作製のほかにも、町内高齢者の見守りなどのボランティア活動を積極的に行っていきたい」と力強く決意を話しました。



川根本町赤十字奉仕団の皆さんの活動に感謝します

## 3/3 子どもたちの健やかな成長を願って

町立保育園で「ひな祭り会」を開催。園児たちにひな祭りの由来を伝える



「さんになかんじよは…ここかな?」とひな人形を飾る

町内の保育園で「ひな祭り」にちなんだ行事が開かれました。桜保育園では、園児たちがひな人形を飾ったり、紙コップや色紙を使ってひな人形を作ったりして楽しみました。

その後、手作りした色とりどりの衣装を着て記念撮影。ひな壇の前で扇や笏(しゃく)を手に、おひな様とお内裏様気分を味わっていました。

また、この日の給食は特別メニューのちらし寿司。園児たちは「美味しいね!」と笑顔で頬張っていました。

## 子どもの良さを引き出す指導を称えて

3/4

諸田朱美先生(中央小学校)が文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞



児童と同じ目線で「問い」かける諸田先生

中央小学校の諸田朱美先生が、令和3年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞されました。

今回の受賞は、諸田先生の「学習指導」や教務主任としての「学校運営の円滑化」の功績が高く評価されたもので、令和2年度の静岡県教育委員会優秀教職員表彰に続くものです。

諸田先生は、平成20年に第一小学校に赴任して以来、長年にわたり町内の小学校で教鞭を取っていただくなど、川根本町とも縁の深い先生です。

諸田先生は「児童の成長を信じて『問い』を続け、教員と児童、保護者など互いの考えを共有できる学校運営に努めたい」と決意を話しました。

## エコティ日記

「町の自然資源を活かした地域観光事業」に取り組んでいる(一社)エコティかわね。今月はインテリア茶箱インストラクターの芹澤あやみさんにお話を聞きました。

### 人とつながり、暮らしを楽しむ

川根本町へ嫁いで20年。ここで一生を過ごす決めた時、まず浮かんだのは自分ができることを探し、さまざまなことにチャレンジすることでした。家庭菜園やパンを焼いてみることから始め、子育てサークルに参加してママさんたちと企画・運営をしたり、NPO法人かわね来風の「ママ宅事業」で町内のいろいろな地区を回ったりしました。そこでたくさんの人の笑顔と出会い、「ありがとう」と言ってもらえることで、自分の喜びにもつながりました。

現在はインテリア茶箱のインストラクターとして、レッスン開催やオーダー受注を行っています。インテリア茶箱はお茶保存の効果はそのままに、衣類の収納・見せる茶箱など、さまざまな使い方があります。また、古くなってしまった茶箱を新しい形へよみがえらせることができます。川根本町の茶箱は町内産の杉を使っており、職人さんが一つ一つ丁寧に作っていて、まさに町自慢の一品だといえます。古くなくても十分に使える茶箱をお洒落にリメイクし、現代に沿った形で使うことができるのも魅力だと思います。

縁もゆかりもない土地だった川根本町ですが、さまざまなことに挑戦することで今、人とのつながりや暮らしを楽しむを得て、心豊かに生活しています。



(上) エコティかわねでのミニ茶箱作りイベント。(下) 今年も3回シリーズでのイベントを企画しています!



芹澤 あやみさん



▶平成14年に結婚を機に来町。  
▶インテリア茶箱クラブ認定インストラクター。ベビーマッサージのインストラクターとしても活動。



(一社)エコティかわね  
川根本町桑野山424-6  
☎(58)7000 FAX (58) 7001  
Eメール: ecotkawane@gmail.com

